

学校だより 令和2年4月6日号②



やなぎっ子

北九州市立大里柳小学校 校長 松中 保明



【学校教育目標】:これからの社会を生き抜く3つの視点…「自律」「協働」「創造」
「自ら学び続け、人間性豊かに、たくましく生きる子どもの育成」
～SDGsの視点を基に大里柳小の強みを「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」学校教育の創造～

【目指す子どもの姿】:6つの好き「友達・先生・柳校・柳のまち・学ぶこと・自分」
～夢を語り合い、仲間とともに価値あることを創造し、
自らを問い直しながら粘り強くやり抜く大里柳っ子～
○【やさしく】:夢を語り合い、お互いを尊重し合う子ども→自律・協働・創造の「種」
○【かしこく】:仲間とともに価値あることを創造する子ども→協働・創造
○【たくましく】:自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども→自律

大好きな柳っ子のあなたたちへ【4月6日(月)始業の日配布分】

まず先生たちはみなさんにお約束をします。みんなが安心して安全に学校生活を送ることができるようにします。学校が再開されたら、嬉しいことや頑張っていることはもちろん、心配事やこまったなと思うことがあったら先生に何でも話してくださいね。

さて、みなさんは、夢はありますか。こんな状況で夢なんてない、って言う人も中にはいると思います。夢というとなりたい仕事のことを思い浮かべますが、それだけではありません。「こんなことしてみたいな」「こんなことができるようになりたいな」というちょっとしたことでよいのです。「それだったらあるよ」と、みなさんが思ってくると嬉しいです。それも大切な夢の一つです。そう考えると、普段の生活の中でも、学校の中でも、夢がいっぱいあふれていると言えそうです。夢いっぱいワクワクするって素敵なことですね。そして、その夢を学級や学年、学校全体の友達と一緒にやってみる、難しかったら方法を考えてまた挑戦(チャレンジ)してみる、そんなことができる学級、学校ってワクワクしますね。できる、できないを越えて、「挑戦(チャレンジ)する」ことに価値があるのです。もちろん、社会や学校のルールや約束を守りながら。

「やさしく かしこく たくましく」これが柳っ子の目指す姿です。

○「やさしく」とは、学校生活で「こんなことしてみたいな」「ここをもっとよくしたいな」というようにどんどん夢を語り合い、思いやりの心をもって友達を、周りの人を大切に、よりよい学校生活を創り出していきましょう、ということです。

○「かしこく」とは、学校生活の中で友達や先生たちと力を合わせて、勉強や係の仕事、学校の行事などの学び、つまり「値打ちのあるもの」に取り組み、そして自分の力を高めましょう、ということです。

○「たくましく」とは、学校生活に全力で取り組み、その取組を自分で振り返りながら、友達や先生と力を合わせて粘り強くやり抜いていきましょう、ということです。

みなさんに「やさしく かしこく たくましく」育ってほしいということが大里柳小学校全員の先生たちの願いです。学校が再開されたら、新しい学年でさらに、そのやさしさ かしこさ たくましさをバランスよく伸ばしてください。楽しみにしています。

そのために、日常生活(学校生活)を送る上で気をつけてほしいことを3つ伝えます。

1つ目は、「自分の命と同じくらい、周囲の人の命を大切にしよう」ということです。

自分の命と同じくらい、周囲の人の命を大切にしましょう。あなたが、その思いやりの心で、笑顔で元気な挨拶、ありがとうの言葉、もくもく清掃、ルールを守ることなどで自らの姿を、心を美しくしようとするを願っています。お家や学校での自分の仕事やお手伝いも頑張りましょうね。

2つ目は、「1日1日を大切に、進んで学ぼう」ということです。

いつ、何が起こるか分からない世の中です。学校があって当たり前ではありません。あなたが、その瞬間、瞬間を大切に、大切な自分、大切な家族、学校の友達や周りの方々の未来のために、過去に学び、今を充実しようとするを願っています。

3つ目は、「一人で、また、周りの方々と力を合わせて粘り強く取り組もう。見直そう。挑戦しよう。」

今できることを全力で取り組もう。一人でできることは一人で努力を続けよう。一人ではできないことも家族や友達と力を合わせればできることもたくさんあります。社会・家庭・学校はそういう場です。粘り強くやり抜こう。うまくいかないときは見直そう。そして、あなたが、社会や学校のルールの中で、いろんなことに挑戦しようとするを願っています。

それでは、学校が再開され、大切な柳っ子のあなたたちに会えるのを楽しみに待っています。どうぞ、健康・安全に気をつけて。おうちの方、あなたに関わってくださる方々のおっしゃることをよく聞いてくださいね。